業界に適した技能を持つ人材を輩出

観光関連の学校を紹介

人手不足が問題となるなか、観光関連企業にとっても、いかに優れた人材を確保するかが経営の大きな課題だ。今回の特集では、観光業界の明日の人材を育成、輩出する「観光関連の大学・専門学校」を紹介する。

日本初の「観光学部」開設

立教大学

立教大学の観光教育は1946年開設の公開講座「ホテル講座」に始まる。1998年、30年余りの歴史を持つ「社会学部観光学科」を改組発展させ、日本初の「観光学部」を開設。同時に、「博士（観光学）」を授与することのできる大学院「観光学研究科」を日本で初めて設置した。

観光学部は現在、「観光学科」「交流文化学科」の2学科体制で、「ビジネスとしての観光」「地域社会における観光」「文化現象としての観光」の三つのプログラム群を設け、多様化した観光の全体像を探る。

一流の観光関連企業の実務家など「現場をよく知る講師」や、観光業界で活躍する卒業生のネットワークを活用した講座なども特徴的だ。時代に必要とされる「観光の頭脳づくり」を目指し、2学科が両輪となり補完しあうことで、バランスの取れた新しい観光教育を実現できる、と同大学は考えている。

新座キャンパス

その他、海外提携大学との交流プログラムの実施や、観光学部独自の国際ネットワークを生かし、海外から一流の観光研究者を招いて授業や講演会を行うなど、日常的に国際的な空気に触れることができる。

なお、「ホテル講座」はその後観光研究所に受け継がれ、2001年からは「ホスピタリティ・マネジメント講座」と改称し、全30回の講座を開講。宿泊産業を中心とするホスピタリティ産業の経営を、理論的かつ実践的に学ぶための講座で、マーケティング、人事、デザイン、法規、地域振興、投資計画、アセットマネジメントなど、多岐にわたる内容から業界の最新動向まで、各分野の専門家や業界を代表する経営陣を迎え講義を展開している。

また、同大学の大学院、観光学研究科では、5年で修士号が取得できる「大学院特別進学制度」を設けている。また、昼夜開講のMBA型大学院「ビジネスデザイン研究科」も設置している。

社会人教育も充実

東洋大学

東洋大学の観光教育の歴史は日本で最も古い。1963年、東洋大学短期大学に観光学科を創設。2001年に4年制の学科として、国際地域学部国際観光学科を設置した。17年4月、同学科を発展的に改組し、「国際観光学部」を開設。50余年の歴史を経て、学部に昇格したことになる。

訪日外国人旅行客の急増など国際化が進む日本の観光市場。国際観光学部では、産業と政策の両分野で即戦力となる実務能力を身に付け、観光立国・日本に貢献できる人材を育成する。

同学部の就学キャンパスは東京都文京区の白山キャンパス。入学定員は366人だ。

教育プログラムは5コースで構成。「ツーリズムコース」「エグゼクティブマネジメントコース」「サービスコミュニケーションコース」「観光プロフェッショナルコース」「観光政策コース」を設置している。

ツーリズムコースは大手旅行会社や鉄道、航空会社、エグゼクティブマネジメントコースはホテルやブライダルのマネジメント職、サービスコミュニケーションコースは航空会社やホスピタリティ産業への就職を想定。観光政策コースは観光行政・DMOを目指す。働きながら観光学全般を視野に学びを深める観光プロフェッショナルコースでは、午後3時ごろから大学で学べる環境を用意している。

1年次には、学生全員が海外研修に参加し、海外諸国の社会や文化に深く関わる観光資源や観光開発への理解を深める。

18年には大学院国際観光学研究科国際観光学専攻に博士前期課程・博士後期課程を開設。研究分野の充実も見逃せない。

来年20年に開設4年目の完成年度を迎える同学部は、国際地域学部国際観光学科の時代から就職に強い。特に旅行・宿泊・交通機関といった観光産業には50%以上が就職し、同学部での学びを社会で生かしている。また、21年度に向けてカリキュラムのさらなる改革も着々と進んでいる。

◇　◇

東洋大学は、社会人教育にも力を入れている。観光庁が実施する「産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業」を17、18年度に受託。「ホスピタリティ産業における女性活躍と組織づくり講座」と題し、観光・ホスピタリティ産業で、総支配人や若女将などのマネジャー層や経営層を目指す女性や、女性の活躍の場を広げたいと考える企業の経営層、ホスピタリティ産業の関係者をターゲットとした講座を実施した。

2年間の同受託事業で蓄積したノウハウを基に、19年度は、観光産業・行政に携わり、自身のスキルアップを目指す女性のための教育プログラムを東洋大学の公開講座として実施する計画だ。

また、東京都との産学連携による「観光経営人材育成講座」も今年で実施2年目を迎える。

国際観光学部の森下晶美教授に同事業などについて聞いた。

——事業の概要は。

「東京都が、観光関連事業者の経営力向上を図り、観光産業の活性化につなげることを目的に、大学などと連携して実施する教育プログラム。本学は、『インバウンド観光振興に対して地域や企業の中でリーダーとして担うことができる人材の育成を目的とした教育プログラムの開発』として受託した」

——具体的な内容は。

「受講対象者は、都内に在住あるいは在勤の方で、地域の観光振興組織・観光産業に在籍する方。募集定員は約30人で受講料は無料だ。土曜日に6回、全17コマの講座を行う。東洋大の教員だけでなく、行政、DMO、シンクタンク、旅行会社、シティホテルなどの方が講師を務める。全ての講義の後にディスカッションの時間を設け、最終日には各自の課題発表も実施する」

——過去の観光庁・東京都と連携した人材育成講座の成果は。

「受講生は、各組織の中核人材、またはその候補者。受講生同士のネットワークが生まれ、新たなビジネス展開も起こりつつあるようだ」

——公開講座は女性活躍に焦点を当てている。

「観光・ホスピタリティ産業は、女性労働者比率が高いが、管理職に就く割合は低い。見方を変えれば、女性の管理職への登用の余地は大きい。食と住に深く関係するホスピタリティ産業では、女性の感性を取り入れることは極めて重要だ」

——社会人教育に注力する理由は。

「本学創立者である井上円了先生の建学の精神の一つが『開かれた大学』。産官学連携活動として、広く社会人向け講座を積極的に開講してきた。また、103年前に日本の私立大学として初めて女子の入学を許可するなど、男女共同参画についても伝統的に取り組んできている学校だ」

「国際観光学部は、『理論と実践』の融合をミッションに掲げている。そのため、実業界出身の教員数が多いのも特徴だ。学部では、観光・ホスピタリティ産業界にこれから携わる人材を育成しているが、受託事業・公開講座等では、現在業界に従事する方々を将来の観光の中核を担う人材へと育成する。観光産業を日本の基幹産業の一つと位置付け、将来さらに高いレベルの観光立国を目指すために、産官学で連携した取り組みで積極的に貢献していきたい」

森下教授

特集

フィールドを世界に拡げ、リアリティに満ちた学びの場を提供する
「オンリーワン」の観光教育

観光学部 観光学科、交流文化学科

観光学部は、1946年に設置された「ホテル講座」を源流とする立教の観光教育を受け継ぐ学部。観光産業の経営と地域活性化の2つの視点から観光を探求する観光学科、観光のもつ交流的側面に注目する交流文化学科の2学科で構成されています。

※入試情報などについては、立教大学ホームページをご覧ください。

観光学研究科 観光学専攻
・教育指導分野：「観光行動・観光文化研究」「観光地域・観光地計画研究」「観光産業・観光事業経営研究」

ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻
観光・ホスピタリティ分野を含む事業構想を実現する創造的能力を育成する大学院（MBA）≪昼夜開講≫

※各研究科の入試は秋季・春季の2回実施します。
大学院の入試要項は立教大学ホームページからダウンロードしてください。

立教大学
www.rikkyo.ac.jp
新座キャンパス　〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26
■問合せ先　入学センター 03-3985-2660
〒171-8501　東京都豊島区西池袋 3-34-1

1年生全員参加の海外研修。18年度は台湾で実施

東洋大学
国際観光学部
新しい観光をつくる、夢を叶える。

1963年、当時の短期大学に日本初となる観光学科を創設。2001年に4年制の「国際地域学部 国際観光学科」となり、50年以上にわたって培われた東洋大学の観光教育。この伝統と実績を基盤として2017年4月、『国際観光学部 国際観光学科』を開設しました。東洋大学の観光の学びが新たなステージへ。

〒112-8606　東京都文京区白山 5-28-20　TEL:03-3945-7571（広報課）　東洋大学　検索

公開講座
「観光庁との連携による地域の観光産業を担う中核人材育成講座」
（※観光庁における支援期間は 2017 年度、2018 年度の 2 年間で終了）

ビジネスリーダーを目指す
女性のための「最新・観光学講座」

本講座では、変化の速いビジネスに対応するため、最新の観光ビジネスの現状とその理解に必要な理論などを学びます。また、女性のより良い働き方についても情報交換などを行いながら考えていきます。

開講期間：2019 年 10 月 26 日（土）～ 12 月 21 日（土）
【土曜日 10:00 ～ 12：00/ 全 5 回開講】
講義内容：10/26（土）「観光産業の新たな潮流」森下晶美（東洋大学国際観光学部 教授）
11/16（土）「観光とホスピタリティのマーケティング」徳江順一郎（東洋大学国際観光学部 准教授）
11/23（土）「女性をターゲットにした旅行商品企画」真柄徹氏（クラブツーリズム株式会社 取締役総務部長）
12/7（土）「観光産業での女性のスキルアップ」鎌田直美氏（沖縄ツーリスト株式会社 経営管理推進室 専門職執行役員室長）
12/21（土）「東京ステーションホテルの文化財見学」岡泉幹雄氏（東京ステーションホテル セールス＆マーケティングマネージャー）
対象者：観光産業・行政に従事する女性および、今後観光ビジネスに携わる社会人女性
※女性との協働を考えたい男性も歓迎
受講場所：東洋大学 白山キャンパス（東京都文京区白山 5-28-20）
都営地下鉄三田線「白山」駅 A3 出口から「正門」徒歩 5 分
東京メトロ南北線「本駒込」駅 1 番出口から「正門」徒歩 5 分
受講料：一般の方　8,250 円（税込）
※東洋大学生は割引価格での受講可
※12 月 21 日開講の「東京ステーションホテルの文化財見学」は昼食を兼ねた意見交換を行います。昼食代は受講料に含まれませんので、別途現地にてお支払いいただきます。
募集定員：30 名
申込方法：東洋大学公式 Web サイトから申込　9 月 2 日（月）オープン
応募締切：2019 年 10 月 16 日（水）

お問い合せ先　東洋大学社会貢献センター（エクステンション課）
電話：03-3945-7635 /FAX：03-3945-7601 /MAIL：mlkouza@toyo.jp